

2022 年度 主治医意見書研修会

日時：2023 年 2 月 3 日（金）19：30 より

場所： 医師会館 7 階講堂 WEB 配信



次第

司会：一般社団法人 浜松市医師会 介護保険 担当理事 小野 宏志

開会 (19:30)

あいさつ 一般社団法人 浜松市医師会長 滝浪 寛

プログラム

1. 浜松市における障害福祉サービスについて

浜松市健康福祉部 障害保健福祉課長 久保田 尚宏様

2. 浜松市の介護保険状況とサービスの特徴

浜松市健康福祉部 介護保険課長 加藤 浩二様

3. 主治医意見書記載の注意点

介護保険 担当理事 小野 宏志

4. 「骨粗鬆症性椎体骨折の治療

いかに元気な背骨を作るか、ロコモの予防も含めて」

浜松医科大学整形外科 教授

浜松医科大学医学部附属病院 病院長

松山幸弘先生

質疑応答

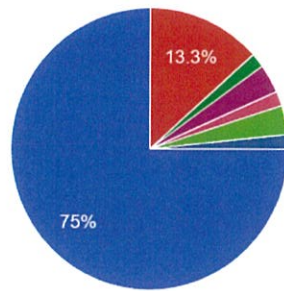
5. まとめ・閉会のあいさつ

浜松市介護認定審査会会長 磯部 智明

閉会 (21:00)

所属

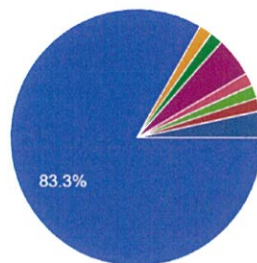
診療所関係	45	75.0%
病院関係	8	13.3%
薬局関係	1	1.7%
居宅介護支援事業所	1	1.7%
地域包括	2	3.3%
施設関係	2	3.3%
行政	1	1.7%
	60	



- 診療所関係
- 病院関係
- 歯科診療所関係
- 薬局関係
- 施設関係
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 地域包括
- サービス事業所
- 行政

職種

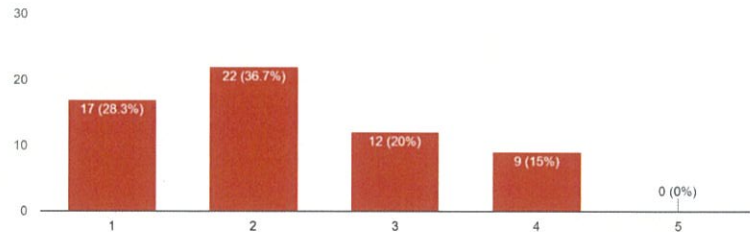
医師	50	83.3%
薬剤師	1	1.7%
保健師	1	1.7%
看護師	3	5.0%
社会福祉士	1	1.7%
介護福祉士	1	1.7%
介護支援専門員	1	1.7%
事務	2	3.3%
	60	



- 医師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 保健師
- 看護師
- 助産師
- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 介護支援専門員
- 事務
- リハビリ関係 (PT・OT・ST)

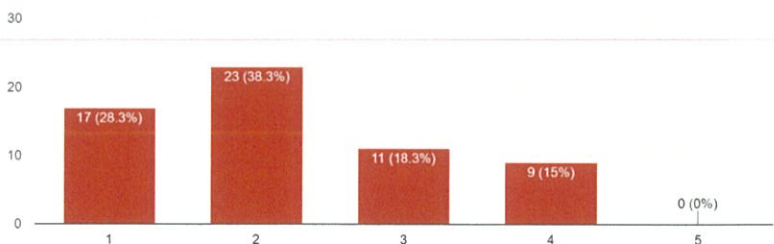
本日の研修で浜松市の障害福祉サービスに関する理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	17	28.3%
2	22	36.7%
3 どちらともいえない	12	20.0%
4	9	15.0%
5 全く理解できなかった	0	0.0%
	60	



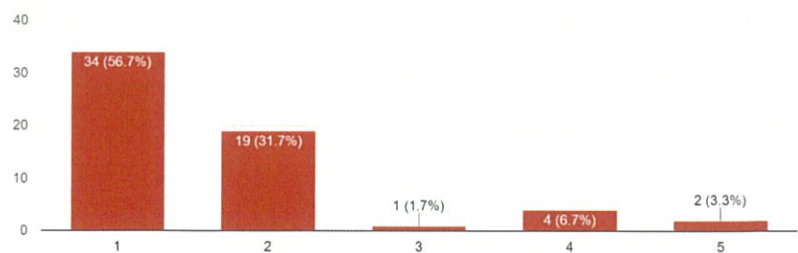
本日の研修で浜松市の介護保険事業の状況に関する理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	17	28.3%
2	23	38.3%
3 どちらともいえない	11	18.3%
4	9	15.0%
5 全く理解できなかった	0	0.0%
	60	



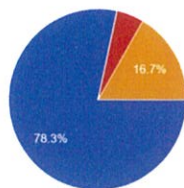
本日の研修で骨粗鬆性椎体骨折の治療に関する理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	34	56.7%
2	19	31.7%
3 どちらともいえない	1	1.7%
4	4	6.7%
5 全く理解できなかった	2	3.3%
	60	



今後実務の中で活用するためのヒントはありましたか？

あった	47	78.3%
なかった	3	5.0%
わからない	10	16.7%
	60	



それはどんな点ですか？その理由も具体的に教えてください

【医師】

- ・ 書類の書き方のポイントがわかりました。
- ・ 主治医意見書の書き方について、具体的に必要ことが確認できた。
- ・ 介護保険に関する最近の状況の情報が得られた
- ・ 障害福祉の現状、介護保険の現状、意見書の書き方のコツやポイントを具体的に学び、理解することができました。明日からの診療に役知ます。また、骨粗鬆性椎体骨折の治療については、最先端の情報をご教授いただき、驚きもありますが、最新情報を学ぶことができました。目の前の骨粗鬆症の患者さんの治療、その先にある治療の幅が広がりました。ありがとうございました。
- ・ 骨粗しょう症の治療に対するテリパラチド、BSP製剤などの位置づけがよくわかった。
- ・ 浜松医大に勤務していますが、松山先生のお話を聞く機会は少なく、よい機会となりました。
- ・ 透析患者には、PTH製剤は使えないけれども、一般の骨粗鬆症患者にはPTH製剤は、非常に有用である事。
- ・ どのようにしたら介護にならないようにできるか？どのように指導したら、介護度を上げないようにできるか？
- ・ サルコペニアになっても動けば改善が期待できる
- ・ 歯科治療が必要かどうか、必ず確認し記入すること
- ・ 骨粗鬆症、椎体骨折、双方の治療の際の薬剤の選択基準が再確認できたこと。また意見書の記載や認定審査にも自信が持てました。
- ・ 高齢者の椎体骨折の治療は浜松医大の松山先生に依頼する
- ・ 骨粗鬆症についての理解が深まった
- ・ 椎体骨骨折の骨粗鬆症の患者さんに手術を勧めることが出来る
- ・ 骨粗しょう症の治療、予防の知識が増した。
- ・ 骨粗鬆性椎体骨折の治療に関し理解が深まった
- ・ 加齢による身体機能の維持
- ・ 骨折治療
- ・ フレイルの確認方法を再確認できました。
- ・ 骨粗鬆症の治療、もっと積極的にみたいと思います。
- ・ 骨粗鬆症の早期治療介入の必要性
- ・ 骨粗鬆症治療薬への理解が進んだ。
- ・ 全体に音声聞き取れませんでしたので、理解するのは難しかったです。
- ・ 骨粗鬆症に積極的に介入することで、要介護状態を回避できること
- ・ ロコモ対策、テリパラチドの使い方

【薬剤師】

- ・ 骨粗鬆症の最近の治療について、専門医ならではの意見がきけた。

【保健師・看護師】

- ・ 改めて、骨量の維持と共に筋肉量の維持も重要であることが理解できたから。
- ・ 治療より予防が大切

【介護福祉士・社会福祉士】

- ・ 骨粗鬆症の予防的対応の重要性を理解したため
- ・ 毎日の運動の大切さ、病院が逼迫している点の理解。

【介護支援専門員】

- ・ ロコモ予防について。骨粗しょう症の薬を内服されている方が多々います。
内服管理に重点を置いていましたが、『運動』して筋力を維持していく事も大切であると学んだため。

【事務】

- ・ 書類はなぜ支援が必要なのか具体的に書く。

本日の感想や質問、今後の研修に対するご意見・ご要望

【医師】

- ・ 今後も浜松市の介護保険事業に関して通知してほしいと思います。特に新型コロナウイルス感染症の感染状況や感染対策事業など教えてほしいです。
- ・ 障害者に関する意見書作成に困っています。
全く専門外の障害に関する意見を求められても、判断に苦慮することが多くて・・・。
- ・ 医師以外の職種の方にはやや専門的すぎたかもしれませんが、松山院長の熱意は皆さんに伝わったと思います。
- ・ 骨粗しょう症のポイントがよく理解できました。
- ・ 松山教授の話は医大の手術の現状がわかり大変参考になりました。高齢者のCa評価はAlb補正をしないと正確に分からないので、次回はその点も伝えていただけると助かります。
- ・ 骨粗鬆症の講演は大変勉強になりました。
- ・ Web配信の時は、演者はマスクを外してマイクに近づかないとよく聞こえないことがある。今回、司会の先生の声はほとんど聞き取れなかった。
- ・ ウェブ講演当日のリマインドメールがあるといい。どうも忘れてしまう。
- ・ もう少し早い時間帯で行って頂ければありがたいです。

【介護福祉士・社会福祉士】

- ・ とても、分かりやすく内容で有り難かったです。
- ・ 講話は関心がある内容で出席できた良かったと感じていますが、(Zoomで参加)途中マイクがミュートになったり、マイクが講演者から遠くなり聞きづらいことがありました。

【介護支援専門員】

- ・ 住まいは東栄町で、佐久間へ通いケアマネとして地域の方々への支援を行っています。講義内で東栄町の紹介があり、東栄町で行ったロコモ事業の報告を聞く事が出来、嬉しく思います。診療所になってしまった事は本当に残念に思っています。先生の話聞き、患者さんの生活、地域へ目を向け考えられている事が伝わりました。佐久間へも市内の病院より先生方が来てくれています。その先生方と一緒に地域の方の為に支援が出来る事を嬉しく思うのと、佐久間病院との顔の見える関係を今後も大切にしていきたいと思う講義でした。ありがとうございました。

【事務】

- ・ 健康寿命が伸びる生活を送れるように心がけたいと思う。